

議案（２）日本型直接支払交付金に関すること

< C 委員 >

現場が高齢化している中では地域は頑張っているなど感じる。環境保全型をどう進めていくか新たな課題。中山間直接支払交付金は条件不利の補正であるが、農業振興であると言われていて、要件もあり大変。傾斜があってもコストの 8 割くらいしか補填されない。平場と競争する条件が揃っているわけではないので、その上に県独自の施策等を踏まえて何かを支援していかないと、そのままでは無くなっていってしまう。価格競争等の面でも厳しい。

< A 委員 >

環境保全型農業直接支払交付金の申請数の中で、後継者が決まっている方はどのくらいいるのか。

< 事務局 >

後継者の有無については把握していないが、現場の声としては高齢化で取組が厳しくなってきたとは聞く。

< A 委員 >

非常に意味のある取組で、SDGs の観点からも増えていくべきであると考えているが、新しい取組があっても後継者がいないとこの取り組み自体持続できないので、まずは将来に向けた掌握も必要なのではないか。